

青果物



和歌山県 ありだ農業協同組合 『有田みかんをシンガポールへ』

【主な品目】

早生みかん

【主な輸出先国・地域】

シンガポール

【輸出取組の概要】

- ◆ 地域団体商標である有田みかんを海外でブランディングすることにより農家所得を向上させること、国内人口の減少に伴う有田みかんの消費減退が想定されることから、国内での需給バランスの調整を図る手段として海外販路を開拓

【輸出実績】(平成28年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成30年度	300	10	11～12月
平成29年度	150	5	
平成28年度	150	5	

【効果があった取組】

- ・有田みかん大使を帯同した現地量販店での販売促進活動
- ・現地商業施設を貸し切り、有田みかんの歴史や生産工程のプレゼンテーション及び来場者へのプレゼントクイズ並びに有田むきのレクチャー

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 現地の消費者は酸味を嫌う為、出荷するみかんの等階級の選定
- ・ 日本産のみかんが競合する中で差別化を図る方法

【生じた課題への対応】

- ・ レギュラー品の中でも酸の低いトップグレードのみかんを出荷
- ・ 有田むきの紹介や有田みかんのマスコットキャラクターを使用したPRを実施し「有田」というフレーズを繰り返し擦り込むことと、現地において抜群の販売力を誇る販売店を選定

【対応の結果】

- ・ 現地のブロガーやインフルエンサーによるSNSへの投稿
- ・ 出荷数量の拡大
- ・ 現地メディアによる取材及び新聞記事への掲載

【今後の課題・展望】

- ・ 現地量販店との商流の確立
- ・ 国内の時期的需給バランスを勘案した出荷時期の選定
- ・ 極早生品種や2L・3Lサイズの輸出と加工品の輸出の実施

【活用した支援・施策】 地域団体商標海外展開支援事業・和歌山県「日本一の果樹産地づくり事業」

【ウェブサイト】 <http://www.ja-arida.or.jp/>

【連絡先】 営農販売部販売企画課 中西 望 0737-53-2324



現地量販店での販売促進



シンガポール高島屋での販売促進



JR Cafeでのプレゼンテーションとレクチャー